

## 学会などで多数の受賞 高い知的生産力を誇る大学院理工学研究科

大学院理工学研究科博士後期課程応用化学専攻3年の橋本奈緒美さん（田中研究室）が、6月29日から7月1日までスイス・エンゲルベルグで開かれた学術国際会議でSILVER AWARD（国際的な学会での学生賞銀賞相当）を受賞しました。

『Hakumon ちゅうおう』学生記者でもある橋本さんの受賞についての記事は、同誌「2010年125周年記念号」オンライン版に掲載しています。

このほか理工学研究科では、学生、教員とも、多くの研究が賞を受けています。

### 最近のおもな受賞 (2010年11月25日現在)

第60回錯体化学討論会 学生講演賞 博士前期課程応用化学専攻2年 増野真也さん（芳賀研究室）	2010年9月
受賞講演タイトル：酸化触媒機能発現を目指した光増感部と酸化活性部を連結したRu二核錯体修飾電極の評価	
International Conference on Nanoscopic Colloid and Surface Science(NCSS2010) BEST POSTER AWARD（最優秀ポスター賞） 博士後期課程応用化学専攻2年 藤井翔さん（芳賀研究室）	2010年9月
受賞研究タイトル：Surface manipulation and immobilization of nanomaterials on Au using a micro-nano bubble 共同研究者：Sho Fujii, Katsuhiko Kanaizuka, Masa-aki Haga	
化学工学会第42回秋季大会 学生賞 博士前期課程応用化学専攻2年 澤村勇介さん（船造研究室）	2010年9月
講演題目：二酸化炭素-有機溶媒混合系におけるビタミン類の無限希釈拡散係数の測定	

## 理工・国井研究室に感謝状 はやぶさプロジェクトに協力

文部科学省は、今年6月に地球へ帰還した小惑星探査機「はやぶさ」が、小惑星イトカワ由来の物質を地球に持ち帰るという世界初の快挙を成し遂げたことに関し、12月に、「はやぶさプロジェクト」に協力した本学理工学部国井研究室など関係各機関に文部科学大臣感謝状を授与しました。

電気電子情報通信工学科の国井研究室では、本プロジェクトで搭載された小型ホッピングローバ「MINERVA」の研究開発、はやぶさの運用などに貢献しました。



月面探査ローバ試作機

## 世界大学野球選手権大会 キューバ代表チームと本学硬式野球部員が交流

第5回世界大学野球選手権大会が、今夏、日本で開催されましたが、同大会で優勝したキューバ代表チームが大会前に本学で合宿、硬式野球部との親善試合等を行いました。

キューバ代表チームは30名で来日、6日間にわたり、教職員臨時宿泊施設を利用しながら硬式野球場で調整を重ね、硬式野球部をはじめ、ホンダ、京都大学、東京ガスと試合を行いました。

硬式野球部との親善試合は、猛暑にもかかわらず、約600名の学生や教職員、学員、地元少年野球チームが観戦する中で行われました。試合は3対12で敗れましたが、2009年WBCの出場選手6名を擁する強豪キューバを相手に試合ができたことは、硬式野球部の選手達にとって有意義なものとなりました。

滞在期間中、キューバ大使館関係者を迎え、硬式野球部員や準硬式野球部員、大学関係者が参加する歓迎会を開

催。スペイン語に堪能な本学学生達の通訳サポートもあり、同世代の会話が弾むなど、大変和やかな会となりました。また、中央大学和太鼓サークル「鼓中央」の演奏では一緒になって太鼓をたたく場面もあり、大いに盛り上がりました。

本学滞在最終日には、硬式野球場の歓迎横断幕に各選手が記念のサイン。中大へ感謝のメッセージを書く選手も多く、野球部員や選手たちにとって思い出深い夏となりました。



## 中央大学・125周年 環境メッセージマーク

11月13日に行われた創立125周年記念式典まで約10年をかけ、創立125周年記念プロジェクトを推進してきましたが、これを契機に、「緑」を大切に「環境」を守り、社会に貢献する学生を育てる本学の姿勢を象徴するマークとして、記念式典にあわせて「中央大学・125周年環境メッセージマーク」を作成しました。このマークは、多摩キャンパス桜広場の「桜の葉」をモチーフとし、葉の枚数は本学を構成する大学6学部、大学院7研究科、専門職大学院3研究科、附属高校4校、附属中学校2校を表現しています。



## 学生と大学が共同でキャンペーンを実施 ハラスメント防止宣言10周年記念講演会開催 学内に「ノンハラスメント運動」



2007年にハラスメントに関する新たな規程ができ、ハラスメント防止啓発委員会では、日々多くの相談と向き合いながら、問題が起こらないよう、防止啓発活動を行っています。

現在、この活動でなくてはならない存在が「ノンハラスメント・プロジェクト」通称NHPという学生団体です。自分達のキャンパスをハラスメントのない、誰もが居心地の良い場所にしたいという思いから、ボランティアで委員会とともに活動をしています。

今年も委員会とNHPのコラボで、10月にノンハラスメント・キャンペーンを展開しました。5日間にわたりギャラリーでの展示や、各学生団体の協力を得て音楽ライブを行いました。その中でも、NHPのメンバーが身近なハラスメントを題材にした創作劇を、フォーラムシアターという形で演じ、ハラスメントをする人の気持ち、される人の心の痛み等を客席の学生とディスカッションを通して共有し合うという、今までにない試みを行いました。それらを演じる中でNHPのメンバーは、相

手との違いを認め、尊重していくことの大切さを学び、参加していた200名を超える客席の学生達も、ハラスメントとは身近にあり、少しの心遣いで防げることもあるということへの気づきを得られたことが、終了後に提出されたアンケートの結果から読み取れました。これからもこのような思いを大切に、学生とともに防止活動を行っていきたいと思います。

また、本学では2000年にセクシュアル・ハラスメント防止啓発宣言を行って今年で10年を迎えることから、「ハラスメント防止啓発宣言10周年記念講演会」を開催しました。講師として、人材育成コンサルタントで、人権・差別の問題について多くの著作があり、多方面で講演を行っている辛淑玉氏をお迎えしました。学生を中心に地域の方々も多数来場し、会場は入りきれないほどの人で埋まりました。辛淑玉氏の明快で鋭い語り口に、参加者の積極的な発言も加わり、活気あふれる講演会となりました。

## 2010年度白門祭報告

2010年度白門祭（多摩キャンパス）が10月31日より11月3日までの4日間、理工白門祭（後楽園キャンパス）が11月1日から3日までの3日間盛大に開催されました。多摩キャンパスでは参加企画481、来場者は約5万人、後楽園キャンパスでは113企画、来場者約6千人を超え、都内の大学でもトップクラスの規模でした。

さらに、創立125周年学生企画として、多摩キャンパス3号館壁面に映像を写し出した「超弩級壁面ビジョン」や、旧



駿河台校舎南門を模してつくられた創立100周年記念ステージ（通称白門）を幻想的にライトアップした「イルミネーション企画」などがありました。また、「OBトークショーリレー」では山本一太氏（政治家）、米長邦雄氏（プロ棋士）、菊地幸夫氏（弁護士）、五十嵐圭氏（バスケットボール選手）など社会で活躍する本学OBを招き、大盛況に終わりました。初日には300発の花火もあげられ、秋の夜空を彩っていました。



## 阿部三郎顧問・元理事長の逝去



1999年5月から二期6年6ヵ月にわたり、本学理事長を務めた阿部三郎本学顧問（2006年5月20日付就任）が、本年9月8日逝去されました（享年84歳）。阿部元理事長は、昭和52年以降、選任評議員・職務上評議員、理事を歴任し、理事長在任中の平成13年、創立125周年記念プロジェクトを立ち上げ、事業募金の推進とともに、「炎の塔」、「Cスクエア」、「グリーンテラス」、「後楽園新3号館」の施設建設、専門職大学院（国際会計研究科、法科大学院）の設置等に尽力されました。

# ChuoOnline —中央大学の「知」を国際発信。毎週更新中

オピニオン:テーマ一覧 (2010年6月~11月)

閲覧者数が多く、社会的信頼性の高いメディアポータルサイトと連携した「Chuo Online」は、この12月でスタートして1年を迎えます。各記事は毎週月曜日と木曜日に更新し、日本語と同じ内容の英訳ページも作成し発信するという点で、高い更新性と継続性、国際性を特徴としています。

本サイトは、多い月で25万以上のPV(ページビュー)があり、中央大学の研究力、教育力、社会への提言力などを重視した内容は、多くの方々から好評を得ています。なかでも、テレビや雑誌でお馴染みの本学教員が旬な話題を提供するオピニオンは人気コーナーとなっており、直近の記事では、鎌倉教授の「iPadの教育・研究への利用可能性」や若林教授の「字幕なしでハリウッド映画を見る方法」、松尾教授の「坂本龍馬と薩長同盟の『新説』論議」が多く読まれています。

## ChuoOnline

これからのマーケティング戦略：ニーズ対応からコンセプト提案へ	商学部教授	三浦 俊彦
政権交代は何をもたらしたか?	総合政策学部教授	スティーブン・R・リード
米(コメ)戸別所得補償制度は日本農業再生の切り札になるか	経済学部教授	大須 眞治
上海は中国を変えるか	文学部教授	榎本 泰子
新しい公共を模索するアメリカの若者	総合政策学部教授	目加田 説子
「失われた30年」を避けるには	商学部教授	塩尻 由典
日本はグローバル環境がパナナスにいかにかかわるべきか	法学部教授	星野 智
神話のなかの草食系男子と肉食系女子	経済学部教授	金光 任三郎
抜本的税制改革議論の進め方	ロースクール教授	森信 茂樹
坂本龍馬と薩長同盟の「新説」論議	文学部教授	松尾 正人
戦後65年目の夏に想う	法学部教授	塚本 三夫
字幕なしでハリウッド映画を見る方法	文学部教授	若林 茂則
変貌する世界経済と APEC	経済学部教授	長谷川聰哲
ピンチをチャンスに	文学部教授	都筑 学
物くさ太郎の「婚活」	文学部准教授	吉野 朋美
臓器移植と解剖	文学部教授	見市 雅俊
インターネット経済の光と影	経済学部教授	谷口 洋志
iPadの教育・研究への利用可能性	理工学部教授	鎌倉 稔成
エコツーリズムよーエコたれ!	経済学部教授	藪田 雅弘
フードデザートから地域の再生に向けて	商学部教授	木立 真直
国際化対応教育の試み	経済学部教授	佐藤 文博
日独交流 150周年に想うー鴉外、『ファウスト』、そして未来へー	法学部教授	平山 令二
財政再建のゆくえ	商学部教授	御船 洋
尖閣諸島中国漁船衝突事件で試される民主国家としての日本	法学部教授	橋本 基弘
アメリカ中間選挙の政治的意義	法学部教授	滝田 賢治
女性 85.6%、男性 1.72% って、なんの数字?	ロースクール教授	山田 省三

CHUO TOPICS

## 教養番組『知の回廊』 —10月より、新タイトルの放送開始

2001年度よりスタートした教養番組「知の回廊」の2010年度出演教員が全て決定しました。新タイトルについては、10月より順次放送を開始し、八王子テレメディアをはじめ、地元の日野・多摩CATV、マイテレビや、JCNグループ所属CATVを中心に、34局で放送され、

視聴世帯数は合計約328万世帯にのびります。

また、八王子テレメディアの実施した調査によると、八王子テレメディア接続世帯約11万世帯のうち、本番組の全タイトルで、月平均15%程度の視聴があり、視聴モニターからは、「八王子市内

に大部分の学部を有する中央大学の発信する教養番組として、放送される価値は十分あると思う」、「かなり昔、学んだだけだったので懐かしくもありました。おもしろかったです」、「とてもわかりやすく、理解しやすい」などの意見が寄せられています。



第74回  
変貌する世界経済とAPEC  
—日本に期待される役割—  
経済学部教授  
長谷川 聡哲



第75回  
人にやさしい情報社会を目指して  
理工学部教授  
加藤 俊一



第76回  
コレラ・パンデミック  
~疫病による英国都市の変容  
文学部教授  
見市 雅俊



第77回  
フェアトレードを通じた  
共生社会の創造  
商学部教授  
日高 克平



第78回  
ギリシャから日本へ来た  
神々(仮題)  
総合政策学部教授  
田辺 勝美



第79回  
「てにをは」でつながる  
日本語の不思議(仮題)  
理工学部教授  
加賀野井 秀一